



# ITU-T SG17 (セキュリティ) 第2回会合報告



KDDI株式会社  
運用本部  
セキュリティオペレーションセンター  
マネージャー

せんが わたる  
千賀 渉



株式会社 KDDI総合研究所  
スマートセキュリティグループ  
グループリーダー

みやけ ゆたか  
三宅 優

## 1. はじめに

ITU-T SG17 (セキュリティ) の第2回会合が、2017年8月29日 (火) ~ 9月6日 (水) にスイス (ジュネーブ) のITU本部において開催された。この会合には、日本からの7名を含む、37か国・機関から143名の参加があった。提出された寄書は109件 (うち日本から7件) で、426件の臨時文書 (Temporary Document) が発行された。

## 2. SG17全体に関わる結果

**2.1 ITSセキュリティをテーマとするワークショップの開催**  
会合前日の8月28日 (月) に、新課題<sup>\*1</sup>であるITSセキュリティをテーマとしたワークショップ (Security Aspects of Intelligent Transport System) が開催された。CITS (Collaboration on ITS Communication Standards) や UN/ECE WP29 (国連欧州経済委員会の下の自動車基準調和世界フォーラム) などの標準化団体、自動車業界の関係者による講演やパネル討論を通じて、活発な議論が行われた。

### 2.2 DLTに関する新課題の設立提案

韓国からの寄書により、ブロックチェーンを構成する技術であるDLT (Distributed Ledger Technology : 分散型台帳技術) をテーマとする新課題設立の提案が行われた。また、DLTに関連する計12件の寄書が提出されたことから、これらを集中的に扱う特別セッションを設け審議を行った。DLTに関わる議論を既存の課題で取り扱うか、新課題を設立して取り扱うかについては賛否が分かれ、連日に渡って議論が行われたが、最終的に後述するSG17体制の見直し議論を開始するという条件で、課題14 (DLTのセキュリ

ティ) 設立をTSAGに提案することで合意した。日本の門林雄基氏 (情報通信研究機構) と韓国のK.H. Oh氏が、共同レポート (Co-rapporteur) としてアサインされた。

### 2.3 SG17体制の見直しに関する議論

今研究会期は4作業部会 (Working Party) / 12課題 (Question) の体制でスタートしたSG17だが、新たに2つの課題<sup>\*2</sup>が設立されたことにより、課題数の過多を懸念する声が複数の国から寄せられた。理由としては各課題の審議はパラレルセッションにて行われるため、会合参加者が少ない国は (ほとんどの国は1名~数名程度)、重要な会議があっても出られないことが挙げられる。また、扱う内容が課題間で重複し、複数の課題によるジョイントセッションが頻繁に行われていることも、課題構成が複雑かつ冗長であるとの指摘を受ける原因となっている。

議論の結果、SG17体制を抜本から見直すためのコレスポネンスグループとしてCG-XSS (Correspondence Group on Transformation of Security Studies) を設立し、メールベースの議論で次回のSG17会合までに一定の結論を出すこととなった。

また、上記結論が出るまでは課題14が所属するWPは定めず、SG17の直下に置くこととした。

## 3. 会合の主な審議内容と結果

### 3.1 WP1 : 電気通信 / ICTセキュリティ

WP1は、各種サービスに必要とされるセキュリティアーキテクチャとフレームワークの検討を行う課題2、ISO/IEC JTC1 SC27との連携をベースに通信事業者における情報セキュリティマネジメントに関する検討を行う課題3、

\*1 2017年3月の第1回SG17会合においてITSセキュリティを扱う新課題の設立が提案され、その後のTSAG会合にて正式に承認された。

\*2 課題13 : Security aspects for Intelligent Transport System、課題14 : Security aspects for Distributed Ledger Technologies

モバイルセキュリティやUSN (Ubiquitous Sensor Network) セキュリティ、IoTセキュリティに関連した検討を行う課題6、ITSセキュリティの検討を行う課題13から構成される。

- ・課題2では、データのライフサイクル管理の参照アーキテクチャを規定する勧告X.1040をコンセントした。また、SDN/NFVセキュリティに関する2件の新規ワークアイテムを設立した。
- ・課題3では、中小通信事業者のためのセキュリティ管理策の実践規範であるX.1053をコンセントした。また、ISO/IECとの共同文書となるサイバー保険のガイドラインなど、4件の新規ワークアイテムを設立した。
- ・課題6では、スマートグリッドにおけるホームエリアネットワーク (HAN) デバイスのガイドラインを記述する勧告X.1331をデターミネーションした。また、IoTセキュリティに関連する3件の新規ワークアイテムを設立した。
- ・課題13では、車内システムへの侵入検知手法など、3件の新規ワークアイテムを設立した。

### 3.2 WP2：サイバー空間のセキュリティ

WP2は、CYBEXをはじめとするサイバー空間上の様々な脅威に対する具体的な対策やガイドラインの検討を行う課題4、技術的な観点からスパム対策の検討を行う課題5から構成される。

- ・課題4では、ネットワークにおけるセキュリティ評価技術を記述する勧告X.1214をデターミネーションした。
- ・課題5では、インスタントメッセージのスパム対策に関する新規ワークアイテムを設立した。

### 3.3 WP3：アプリケーションセキュリティ

WP3は、Webサービスやアプリケーションサービス、P2Pで必要とされるセキュリティ技術の検討を行う課題7、クラウドコンピューティングにおけるセキュリティに関わる検討を行う課題8、仕様記述言語や統一モデリング言語 (UML)、開放型分散処理 (ODP) などの検討を行う課題12から構成される。

- ・課題7では、通信の付加サービスのセキュリティ保護ガイドラインを記述する勧告X.1147をコンセントした。また、通信事業者によるセキュリティサービスの技術フレームワークなど、2件の新規ワークアイテムを設立した。
- ・課題8では、クラウドコンピューティングのサービスモニターの要件を規定するX.1603をデターミネーションした。また、ビッグデータのライフサイクル管理に関する新規

ワークアイテムを設立した。

- ・課題12では、TTCN-3 (Testing and Test Control Notation v3) の改訂版勧告Z.161をコンセントした。また、Zシリーズ (Testing関連) の2件の新規ワークアイテムを設立した。

### 3.4 WP4：ID管理及び認証

WP4は、生体認証技術を通信環境で利用するための標準規格の検討を行う課題9、ID管理に関連する技術やサービスについて検討する課題10、X.509を含むPKI関連技術とASN.1/OID関連の検討を行う課題11から構成される。

- ・課題9では、テレバイオメトリクスデータのアクセス管理を規定する勧告X.1080.0の改正 (Amendment) をコンセントした。
- ・課題11では、JSONエンコーディング規則を記述する勧告X.680及び、ASN.1関連の4件の勧告の技術的訂正 (Technical Corrigendum) をコンセントした。また、PKIに関連する1件の新規ワークアイテムを設立した。勧告草案X.pki-profをワークアイテムから削除した。
- ・課題10では、今会合でデターミネーションまたはコンセントされた勧告、新規ワークアイテムの設立等はなかった。

### 3.5 その他

- ・課題1では、ITU-T及び他団体のICTセキュリティ標準を広く紹介する“セキュリティマニュアル”の改訂を行う新規ワークアイテムを設立した。
- ・DLTに関する下記の7件の新規ワークアイテムを設立し、新設の課題14で扱うこととなった。
  - X.dltsec, Privacy and security considerations for using DLT data in Identity Management
  - X.sadt, Security assurance for Distributed Ledger Technology
  - X.sct-dlt, Security capabilities and threats of Distributed Ledger Technology
  - X.sradlt, Security architecture for Distributed Ledger Technology
  - X.ss-dlt, Security Services based on Distributed Ledger Technology
  - X.stov, Security threats to online voting using distributed ledger technology
  - X.strdlt, Security threats and requirements for digital payment services based on distributed ledger technology



#### 4. 今後の会合の予定について

次回のSG17会合は、2018年3月20日（火）～3月29日（木）にスイス（ジュネーブ）で開催される。また会合前日の3月19日（月）には、5Gセキュリティをテーマとしたワークショップを開催する予定である。

次回までに開催される中間会合等の予定を表に示す。

#### 5. おわりに

2017年3月に実施されたSG17会合で課題13（ITSセキュ

リティ）設立に続き、今回の会合においても新規となる課題14（DLTセキュリティ）が設立された。課題数が14となり、内容的にどの課題で取り扱うのが難しい案件も増えてきており、前述のとおり、課題数増加を機にSG17における検討課題を整理して体制を見直す活動を行うこととなった。IoT、クラウド、ITS、5G等の普及・展開により新たなサービスが創出される中で、セキュリティ上の課題も増えてきている。ITU-Tとしてタイムリーな勧告を出せる体制作りをこの機会に行えればと考えている。

■表. 今後の関係会合の予定

| 会合名                    | 開催期間              | 開催地         | 会合内容   |
|------------------------|-------------------|-------------|--|
| 課題11中間会合               | 2017年10月30日～11月3日 | 韓国（ソナム）     | ISO/IEC JTC 1/SC6/WG10との共同開催                                   |
| 課題14中間会合 <sup>※1</sup> | 2017年11月30日～12月1日 | 韓国（ソウル）     | 課題14のワークアイテム全て   |
| 課題7中間会合                | 2017年12月13日～14日   | 中国（北京）      | 課題7のワークアイテム全て  |
| 課題14中間会合 <sup>※1</sup> | 2018年1月（未定）       | 中国          | 課題14のワークアイテム全て   |
| 課題4、10合同中間会合           | 2018年1月9日～10日     | カナダ（バンクーバー） | 課題4及び課題10のワークアイテム全て  |
| 課題3中間会合 <sup>※2</sup>  | 2018年1月25日～26日    | 韓国（ソウル）     | X.1052-rev、X.1054-rev、X.cins、X.sup-gpim、X.sup-grm及びX.sup13-rev |
| 課題6中間会合 <sup>※2</sup>  | 2018年1月25日～26日    | 韓国（ソウル）     | 課題6のワークアイテム全て  |
| 課題13中間会合 <sup>※2</sup> | 2018年1月25日～26日    | 韓国（ソウル）     | 課題13のワークアイテム全て   |
| ワークショップ                | 2018年3月19日        | スイス（ジュネーブ）  | 5Gセキュリティをテーマとしたワークショップ   |
| SG17会合                 | 2018年3月20日～28日    | スイス（ジュネーブ）  |  |

※1 課題14は中間会合を2回開催する

※2 課題3、課題6、課題13の中間会合は、同一日程・会場でのコロケート開催